

牛群検定通信 No139

～ 繁殖に活かす牛群検定成績表 ～

繁殖成績の善し悪しが酪農経営に大きな影響を与えていることは、酪農家なら誰でもご存じでしょう。そして、繁殖成績を良くしたいと皆思っていますが現実にはそう甘くはありません。では、どうすれば繁殖成績が良くなり、酪農経営が改善するのでしょうか。

繁殖は繁殖ホルモンの影響で発情が来たり、受胎が決まったりしますが、それ以外にも子宮や卵巣の状態、栄養状態、ストレスに関係する飼養環境、夏の暑さや冬の寒さ等々、いろいろな要因が関係し、一筋縄ではいきません。このため、繁殖成績を改善するためには、自分の牛達が今どのような状況に置かれているのかを正確に把握して、問題点を洗い出し、それを一つ一つ改善していくしか方法はありません。

牛群検定成績表は授精回数や初回授精などの授精状況、妊娠頭数や空胎期間や乾乳日数などの管理状況、更に分娩間隔など様々な繁殖関係の情報が記載されています。また、乳量や乳成分からも栄養状態や分娩後の飼養管理状況が分かりますし、気象情報の記載もありますので、暑さ寒さも把握することができます。

このように、牛群検定成績表には繁殖に関して多くのデータが示されていますので、自分の牛群の置かれている状況を正確に把握することができます。これらのデータを活用して、繁殖改善に取り組んでいきましょう。

1 最初に確認するもの

繁殖成績の善し悪しはどの数字を見れば分かるのでしょうか。繁殖が悪くなると分娩間隔が延びていき、繁殖成績が良くなると分娩間隔は短くなっていきます。もう少し詳しくいうと、種が付くまでの期間が長いと分娩間隔が長く、早く種が付けば分娩間隔は短くなって行くということです。そこで、種が付くまでの期間、つまり空胎日数を見れば繁殖の善し悪しが分かるということになります。ですから、まず空胎日数をチェックしましょう。

空胎日数は検定成績表1枚目の中段、やや右のところに記載してあります。平均の欄はその月の平均空胎日数を示しており、下段に行くほど数値が大きくなる場合は平均空胎日数が増加していることを現しており、種付け状況が悪くなっていることを示しています。また、平均の右の欄には空胎日数別にどれくらいの割合で種が付いているのかが示してあります。145日以上の割合を減らすことが重要です。まず、この表を確認し、この一年間の種付け状況を把握しましょう。

~~~~~

速報！繁殖台帳WebシステムにBHB等の乳成分速報を情報提供開始！

10月から繁殖台帳WebシステムでBHB等の乳成分速報を情報提供開始しました。乳成分速報は検定成績表より早くフィードバックされます。

BHBは、牛のケトosisや栄養不足、低品質サイレージ（酪酸発酵）のモニタリングに優れた乳成分の検査項目です。操作方法等、詳しくは「増刊！牛群検定通信11月号No. 130」をご覧ください。